



The Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships

30-1, Senju-azuma 1-chome, Adachi-ku, Tokyo 120-8534

Tel: 81-3-3888-8256 Fax: 81-3-3888-8242 E-mail: shouhei-au@aots.jp URL: <http://www.aots.jp/>

技術・人材協力を通じた
新興国との共創推進事業
(研修・専門家派遣・寄附講座開設事業)

2026 年 8 月

募集要項

リーダーシップ研修コース

The Leadership Development Training Program
[LDTP]

2027 年 1 月 27 日～2 月 9 日

1. コース開設の背景：

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修及び専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

AOTS は 1959 年（昭和 34 年）8 月に日本で最初の民間による技術協力機関として通商産業省（現・経済産業省）の認可を受け設立され、これまでに日本で実施した研修には、2024 年度（令和 6 年度）までに世界 198 の国と地域から延べ 200,000 人余りが参加したほか、海外で実施した研修にも延べ 240,000 人余りが参加しています。

AOTS は帰国後の参加者や開発途上諸国の産業界からの要望に基づき、様々な研修コースの企画、開発に努めています。

「リーダーシップ研修コース(LDTP)」は、一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)が実施する管理研修コースの1つです。本コースでは、開発途上国の企業・組織の経営者、経営幹部、上級管理者を対象として、リーダーシップ理論、経営戦略、マーケティング思考、組織変革、次世代経営リーダー育成、イノベーション、AI・デジタル時代の経営などについて、体系的かつ実践的に学びます。また、日本企業の経営者・実務家による講義、企業・関連施設への訪問、参加者同士の対話と内省を通じて、自らの「リーダーシップの持論」を明確化します。さらに、帰国後に自社・自組織で取り組む経営課題を整理し、その解決と変革を実現するための具体的な行動計画へと結びつけることを目的としています。

2. 対象国：

下記 URL より対象国・地域一覧をご確認ください。
<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/oda/>

3. 参加者の人数：

25 名

4. 参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

- (1) 原則として、企業・組織における経営者・経営幹部・上級管理者
 - (2) 原則として、3 年以上の業務経験を有する方
 - (3) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方
 - (4) 英語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
 - (5) 心身健康な方
 - (6) 開発途上国または地域に居住の方
 - (7) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
 - (8) 原則として、コンサルタントでない方
 - (9) 過去に AOTS が実施する国庫補助事業の研修制度で来日した方は、帰国後半年（183 日）以内に開始されるコースに応募することはできません。
- ＊ 勤務先が日系企業、日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業の方が望ましい。（日系企業や日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が高くなります。）

注意：

- (1) コース参加者は、研修コースの全てのカリキュラムに参加する必要があります。
- (2) 日本へ家族や会社の同僚・部下等を同伴することはできません。
- (3) 参加者は AOTS に対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることは

できません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、実地研修を計画し、AOTS の承認を受けた場合はこの限りではありません。

- (4) 日本以外の先進国資本が入った企業からお申込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。
- (5) 本研修は、主に民間企業・団体に勤務する方を対象としているため、中央・地方政府機関からお申込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。
- (6) 申し込み人数が定員を上回る場合は、日本の受入企業または海外の派遣企業 1 社当たりの参加人数を制限させていただくことがあります。

5. 応募方法：

日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む場合と、海外の現地法人が直接 AOTS に申し込む場合では、応募方法、提出書類等が異なりますので、ご注意ください。

- (1) 管理研修参加後に実地研修を希望する場合、受入企業となる日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む必要があります。
- (2) 日本国内の法人を通じて申し込む場合、渡航費は対象となりません。但しアフリカからの参加者を受入れる場合のみ渡航費を対象とします。

（日本国内の法人を通じてのお申込みの場合）

- (1) 仮申込み：お電話、または E-mail にて検討されている研修の概要（研修対象者の属性、実地研修の有無等）をご連絡ください。そのうえで、以下の応募書類を **2026 年 10 月 30 日（金）** までに、AOTS 企業連携第 1 グループ／第 2 グループ（1 2. お問い合わせご参照）までご提出ください。

1. 研修申込書（概要） 2. 研修生個人記録並びに研修契約に関する申告書 3. 事前研修レポート

- (2) 本申込み：仮申込み受理の連絡を受けた後、本申込みに必要な書類の準備、段取りなどについて、ご案内いたします。

※ご不明点等ありましたら企業連携第 1 グループ／第 2 グループにお問い合わせください。（1 2. お問い合わせご参照）

※上記 AOTS 所定様式は当協会ホームページからダウンロードできます。

【日本語】<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/download/#kanri-shinkokoku>

（海外の現地法人から AOTS に直接お申込みの場合）

AOTS 海外協力機関を通して、以下の応募書類一式を PDF・エクセル両方の形式で、**2026 年 10 月 30 日（金）** までに AOTS 海外協力第 1 グループに到着するように提出してください。

応募書類の提出期限は、各機関によって異なりますので、AOTS 海外協力第 1 グループ（1 2. お問い合わせご参照）にお問い合わせください。

お申込者には AOTS 海外協力機関による面接をさせていただきます。

- (1) 研修申込書、研修生個人記録申告書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）

※PDF・エクセル両方のソフトコピーを提出

- (2) 日本企業との取引および日本市場への参入に関する調査票 ※エクセル

- (3) 問診書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください） ※PDF

- (4) 研修生個人情報の取り扱いについて（AOTS 所定様式） ※PDF

- (5) 海外旅行保険承諾書（AOTS 所定様式） ※PDF

- (6) 研修契約に関する申告書（日系派遣企業用） ※PDF

- (7) 勤務先概要を紹介する資料 ※PDF

- (8) 顔写真データ（データタイトルに氏名を入力してください） ※JPEG または PDF

- (9) パスポートコピー ※PDF

※パスポートをお持ちでない場合は、自動車免許証コピーや ID カードコピー等（公的機関により発行されたもので、写真があり、ローマ字で氏名、生年月日が記載されているもの）を提出してください。

- (10) 事前研修レポート ※WORD

注意：

※他にも必要に応じて書類を求めることがあります。

※AOTS 所定様式については AOTS 海外協力第 1 グループ（1 2. お問い合わせご参照）にお問い合わせください。

提出された応募書類は、**2026年12月3日（木）**の審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会終了後、AOTSより連絡いたします。

注：応募者が締切日時点で定員に満たない場合、本コースを中止または延期する場合があります。

6. 研修コースの概要：

■ 目的

本コースは、リーダーシップ理論、経営戦略、マーケティング思考、組織変革、次世代経営リーダー育成、イノベーション、AI・デジタル時代の経営など、体系的かつ実践的に学びます。また、日本企業の経営者・実務家による講義や企業・関連施設への訪問や、参加者同士の対話と内省を通じて、自らの「リーダーシップの持論」を明確化します。さらに、帰国後に自社・自組織で取り組む経営課題を整理し、その解決と変革を実現するための具体的な行動計画へと結びつけることを目的としています。

■ 期待される効果

- (1) 実践的なリーダーシップの考え方や、AI・デジタル時代の経営戦略や組織開発についての理解を深めることができます。
- (2) 自身のリーダーシップスタイルや、強み・弱みを分析することで、自身のマネジメント方法に関する課題を把握し、経営リーダーとして行動する軸として「リーダーシップの持論」を明確化することができます。
- (3) 明確化された「リーダーシップの持論」を軸として帰国後に実行する経営課題や問題解決を実現するための行動計画を策定することができます。

■ 期間

2027年1月27日（水）～2月9日（火）（14日間）

■ 内容

本コースでは、リーダーシップに関する理論的理解を深めるとともに、ケーススタディ、日本企業の経営者・実務家との対話、企業・関連施設への訪問、参加者間の討議と内省を組み合わせ、2週間を通じて段階的に学びを深めます。

【Step 1 自分自身とリーダーシップを問い直す】

リーダーシップに関する主要な理論と経営リーダー育成の実践を学ぶとともに、本コースのコースディレクターである大嶋教授が提唱する「4K リーダーシップ・モデル（志・共感・共創・関係性）※」を踏まえ、経営リーダーに求められる役割や能力について考察します。また、自身のリーダーシップスタイル、強み・弱み、これまでの経験を振り返ることにより、自らの課題を把握し、経営リーダーとして今後強化すべき能力を明確にします。

※4K リーダーシップ・モデル

大嶋教授が提唱する概念モデルであり、リーダーシップを構成する「志・共感・共創・関係性」が相互に結びつき、影響し合いながら発展していくという考え方。

【Step 2 変革と成長を実現する経営リーダーシップを学ぶ】

経営戦略、マーケティング思考、組織変革、次世代経営リーダー育成、イノベーション、ブランド戦略、AI・デジタル時代の経営などについて、理論と実践の双方から学びます。さらに、日本企業の経営者・実務家による講義や企業・関連施設への訪問を通じて、理念の継承、事業変革、人材育成、組織能力の形成、新たな価値創造などが、実際の経営の中でどのように実現されているのかを考察します。異なる企業・産業の事例を比較しながら、自社・自組織に何を応用できるのかという視点で討議と内省を行います。

【Step 3 自らの「リーダーシップの持論」を明確化する】

研修で得た理論や企業事例、経営者の考え方、他国の参加者との対話、そして自身のこれまでの経験を結びつけながら、「自分はどのような志を立て、どのように人と組織を動かすリーダーでありたいのか」

を考察します。その過程を通じて、経営リーダーとして意思決定し行動する際の自らの軸となる「リーダーシップの持論」を明確化します。

【Step 4 学びを自社・自組織の変革へつなげる】

帰国後に取り組むべき自社・自組織の経営課題を設定し、研修で形成した「リーダーシップの持論」をどのように実践へ移すのかを具体的な行動計画としてまとめます。最終日には、自らが実現したい変革と、その実現に向けた具体的な行動を発表し、参加者・講師との対話を通じて行動計画をさらに磨き上げます。

コースは通常午前3時間、午後3時間の講義からなり、夕方にはグループ討論が行われます。
日程表（予定）をご覧ください。

■ 使用言語

講義、企業見学、演習は英語あるいは英語通訳付で行われます。コースで使用する資料と教材は英語で作成されます。

■ コースディレクター

大嶋 淳俊氏

国立大学法人 宇都宮大学 データサイエンス経営学部・大学院地域創生科学研究科
教授、博士（人間科学）

リーダーシップ開発、組織開発、AI・デジタル経営、マーケティング戦略を主要な研究・教育分野とする。総合シンクタンクにおいて、「人材」「デジタル活用」「グローバル」を柱として、政府の政策調査・事業推進や、大企業へのコンサルティング、人材育成、新規事業開発などに従事した。また、APEC（アジア太平洋経済協力）の人材育成関連事務局への出向などを通じ、国際的な産官学連携や人材育成にも携わってきた。

現在は大学において、経営リーダー育成、企業内大学、デジタルマーケティング、地域ブランディングなどの研究・教育に従事するとともに、行政や企業の幹部を対象とした研修・講演を多数担当している。10年以上にわたり海外経営幹部向けリーダーシップ研修に携わり、理論と実践を統合したリーダーシップ開発に取り組んでいる。主な単著に『次世代経営リーダー育成』、The Evolution and Challenges of Corporate Universities in Japan などがある。

■ 研修場所と宿泊施設（予定）

AOTS 東京研修センター(TKC) <http://www.aots.jp/jp/center/about/tkc.html>

120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8231（受付） ファックス：03-3888-0763

リーダーシップ研修コース[LDTP] 日程（案）

2027年1月27日～2月9日

AOTS 東京研修センター（予定）

日付	午前		午後
1月26日 (火)	(来日)		
27日 (水)	オリエンテーション／開講式 【講義】リーダーシップ概念と理論の多角的理解 ～AI時代の戦略的リーダーシップ開発～（1）		【講義】リーダーシップ概念と理論の多角的理解 ～AI時代の戦略的リーダーシップ開発～（2）
28日 (木)	【講義】持続的成長のための次世代経営リーダー育成の組織的実践		【講義】効果的に組織を動かして成長を実現 ～組織横断型リーダーの育成～
29日 (金)	【講義】伝統産業でイノベーションを起こすためのリーダーシップ		【講義】企業内大学による組織能力開発とリスクリングの展開
30日 (土)	休日		
31日 (日)	休日		
2月1日 (月)	【講義】マーケティング思考とリーダーシップ		【講義】事業変革と持続的成長を実現する経営リーダーシップ 日本企業とのビジネス交流会
2日 (火)	【講義】人材育成とブランド戦略		【講義】組織変革とリーダーシップ
3日 (水)	企業等見学 (遠隔地)	(移動)	【見学】創業からの理念、歴史、ビジョン事例 ／日本を代表する創業経営者の理念と全員参加経営事例
4日 (木)		【見学】日本の伝統産業でのイノベーション事例	【見学】近代日本の科学技術の歴史とイノベーション事例
5日 (金)		【見学】日本を代表する創業経営者の理念とリーダーシップ事例	(移動)
6日 (土)	休日		
7日 (日)	休日		
8日 (月)	【見学】オープンイノベーションによる新たな価値創造事例		リーダーシップ・アクションプラン（LAP） 発表準備
9日 (火)	リーダーシップ・アクションプラン（LAP）発表		修了式
10日 (水)	(帰国)		

注意：

- (1) 上記のスケジュールは、講師や協力企業の都合、その他のやむをえない事情のために変更されることがあります。
- (2) 夕食後グループ討論を行うことがあります。
- (3) 土曜、日曜は原則として休日ですが、必要に応じて講義の予定が組まれることがあります。

7. 到着日及び出発日について：

参加者は、原則として研修開始日前日に日本に到着し、研修終了日翌日に日本を出発することとします。

8. 経費：

<日本国内の法人からお申し込みの場合>

以下の試算例をご参照ください。

いずれの試算例も、コース開始前日 1/26 来日・終了日翌日 2/10 帰国 14 日コース
成田空港・東京研修センター間移動の場合です。

【試算例 1】中小企業の場合 受入費補助率 2/3

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	215,120	[2/3] 143,413	[1/3] 71,707
2. 研修実施費	612,000	406,000	206,000
合計	827,120	549,413	277,707

【試算例 2】中小企業に該当しない企業（一般分野）の場合 受入費補助率 1/3

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	215,120	[1/3] 71,706	[2/3] 143,414
2. 研修実施費	612,000	356,000	256,000
合計	827,120	427,706	399,414

【試算例 3】中小企業に該当しない企業（重点分野）の場合 受入費補助率 1/2

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	215,120	[1/2] 107,560	[1/2] 107,560
2. 研修実施費	612,000	381,000	231,000
合計	827,120	488,560	338,560

【試算例 4】中小企業アフリカ受入の場合 受入費補助率 3/3（100%）

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	526,060	[3/3] 526,060	[0] 0
2. 研修実施費	612,000	456,000	156,000
合計	1,138,060	982,060	156,000

【試算例 5】 中小企業に該当しない企業 アフリカ受入の場合 受入費補助率 2/3

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	526,060	[2/3] 350,706	[1/3] 175,354
2. 研修実施費	612,000	406,000	206,000
合計	1,138,060	756,706	381,354

※受入費は下記受入費基準額一覧をもとに計算しております。そのほか、国内移動費（成田国際空港・東京研修センター間）および厚生費（管理研修期間中の海外旅行保険代等）が含まれます。

※渡航費はアフリカ受入以外補助対象外となります。上記試算例 4、5 のアフリカ受入の渡航費は海外からの申込の場合の 2026 年度上期（2026 年 9 月以前）のエジプトの航空券補助上限額（310,940 円）で試算しています。

※研修コース参加後に現地研修をご希望の場合、経費については、AOTS 企業連携第 1 グループ/第 2 グループ（12. お問い合わせご参照）にお問い合わせ願います。

※中小企業とは中小企業基本法に規定する中小企業、一般企業とは中小企業以外の企業をいいます。但し、中小企業以外の企業に直接又は間接に 100%の株式を保有される事業者は中小企業としません。

※重点分野とは中小企業に該当しない企業のみが対象で、通常 1/3 の国庫補助率を 1/2 に引き上げられる案件で、現地研修の内容が開発途上国・地域の産業発展に大きく寄与する技術協力と認められるもの（新法人や新工場の立ち上げや先進的な新製品・新サービスの立ち上げの対応等（サプライチェーンの多元化・強靱化に大きく寄与する案件を含む）に該当するものをいいます。

◎受入費基準額一覧

AOTS 研修センター 宿舍費・食費	来日日のみ	11,200 円／泊
	来日日以外	12,200 円／泊
研修旅行時	宿舍費	14,500 円／泊
	食費	3,200 円／泊
雑費		1,000 円／泊

※管理研修終了後、現地研修を実施することができます。その場合、以下現地研修費が補助対象となります。

現地研修費	AOTS 基準	備考
現地研修に必要な経費に充当 （現地研修期間中における研修用資材、研修生の交通費、受入企業の指導員の人件費などの諸経費に充当するもの）	中小企業に該当しない企業 3,360 円／日	・日額単価・暦日 ・研修生への支払い方法は現物提供
	中小企業 5,190 円／日	

<海外の法人からお申し込みの場合>

英語版募集要項(The Program Outline)をご参照下さい。下記 URL より該当コースの募集要項をダウンロードください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/course/>

9. 査証（VISA）の取得について：

(1) 在留資格

日本で研修するために必要な在留資格は「研修」です。

(2) 査証の取得

参加者は、AOTS が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって自身で在外日本国大使館/総領事館（以下「在外公館」とする）にて「研修」査証の申請、取得をしてください。ただし、申請書類が本省照会となり時間がかかる場合があるため時間に余裕をもって申請することを強くお勧めします。

(3) 注意事項

既に「短期滞在査証」、「短期数次査証」、「APEC・ビジネス・トラベルカード（ABTC）」等、「研修」以外の査証を取得している方、または査証免除国・地域からの参加者は、既存の査証が日本での研修コース参加という滞在資格に合致していることを事前に、必ず最寄りの在外公館にて事前確認してください。

10. 海外旅行保険の付保について

AOTS は、参加者に対し日本に到着した時から、日本を出発するまでの期間を補償対象とした海外旅行保険を付保します。付保内容は傷病により医療機関で診療を受ける際の医療費と賠償責任・救援者費用で構成されています。別紙を参照の上、研修申込時に海外旅行保険付保に対する同意の意思確認のためサイン済みの同意書を提出してください。

11. 個人情報の取扱いについて：

AOTS が取得する応募者の個人情報については以下のとおり取扱います。

- (1) 個人情報の管理者： 一般財団法人海外産業人材育成協会 総務企画部長

連絡先： 総務企画部 総務・人事グループ

電話：03-3888-8211 E-mail: kojinjoho-cj@aots.jp

- (2) 利用目的

ご提供いただいた個人情報は、参加者受入及び研修実施に関する事務手続きのために利用します。それ以外の利用目的または法令に基づく要請の範囲を超えた利用はいたしません。

尚 AOTS の個人情報保護方針は、<http://www.aots.jp/jp/policy/privacy.html> をご覧ください。

12. お問い合わせ：

一般財団法人 海外産業人材育成協会

日本国内の法人を通じてのお申込の場合

企業連携部 企業連携第1グループ/第2グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8221

Fax：03-3888-8428

E-mail: kigyo-inquiry-az@aots.jp

海外の法人から直接のお申込の場合

海外統括部 海外協力第1グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8256

Fax：03-3888-8242

E-mail: shouhei-au@aots.jp

PRE-TRAINING REPORT

-The Leadership Development Training Program - [LDTP]

Please fill in the following items by using a personal computer or similar equipment in English. Handwriting should be avoided. AOTS will duplicate and distribute it to lecturers and other participants as a reference material for the group discussion and the presentations to be held during the program.

1. Your name	
2. Your country	
3. Name of your company/ organization	
4. Outline of your organization (preferably attach an organization brochure)	
5. Your position and department (preferably attach an organizational chart, indicating your position)	
6. Your duties in detail	
7. Your strengths, weaknesses, and future vision as a leader	(Weakness)
	(Strengths)
	(Future Vision)

8. Please write down your company/ organization's corporate philosophy (if any.)	
9. Most critical problems related to your own leadership	
10. What are your expectations of this training program?	